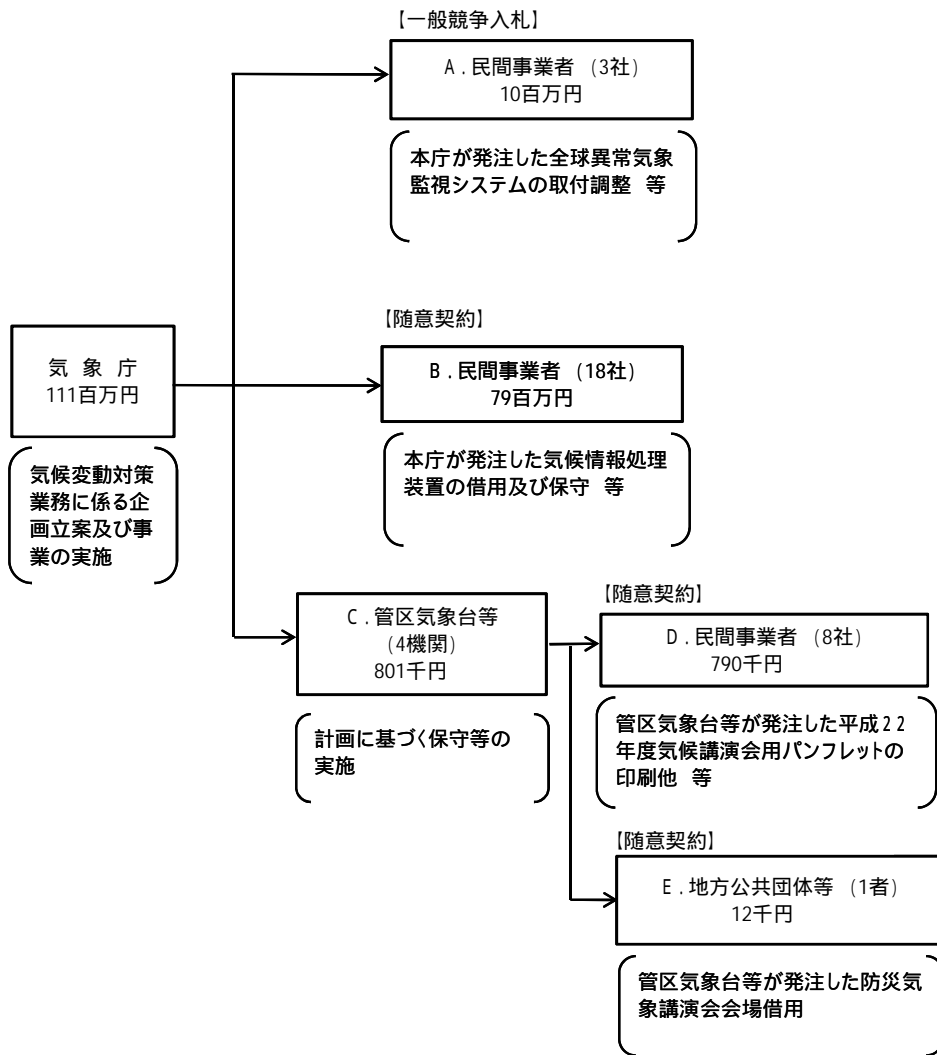


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	気候変動対策業務		担当部局	気象庁地球環境・海洋部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和56年度～		担当課室	気候情報課			課長 横手嘉二	
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条、第36条 他)		関係する計画、通知等	気候変動に関する国際連合枠組条約(平成6年発効) 地球温暖化対策推進大綱(平成14年決定) ヒートアイランド対策大綱(平成16年策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	地球温暖化の予測および監視情報を提供することにより、地球温暖化による影響評価や地球温暖化の緩和策、適応策の検討の推進および地球温暖化に関する科学的知見の普及・啓発の推進を図る。また、翌週の顕著な高低温の情報の発表および異常気象のメカニズムの解明や見通しに関する見解、想定される発生頻度と程度を公表する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化予測モデルの結果を解析し、「地球温暖化予測情報」として公表するとともに、地球温暖化に伴って増加が予想される異常気象の発生頻度との情報を異常気象リスクマップとして公表する。また、地球温暖化とともに、都市の気温上昇の原因となっているヒートアイランドについて、その監視結果を報告する。さらに、異常気象の要因と見通しについて官学連携の異常気象分析検討会を開催し、その結果を公表するとともに、翌週の顕著な高低温を対象とした異常天候早期警戒情報を週2回発表する。これらに関する科学的知見の普及・啓発を各地で実施するほか、データ提供による高度な利用を推進する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	72	159	112	99	74	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	72	159	112	99	74		
	執行額	72	157	111				
執行率(%)	100.0%	98.7%	99.2%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	全国の11予報中枢で、それぞれ気候講演会を年1回開催する。		成果実績	回	15	11	11	11
			達成度	%	136	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	地球温暖化予測情報等の公表		活動実績 (当初見込)	回	1	1	1 (1)	1 (1)
	異常天候早期警戒情報の発表回数 (発表官署における延べ回数)		活動実績 (当初見込)	回	421	505	593 (基準到達時)	(基準到達時)
	異常気象分析検討会の開催		活動実績 (当初見込)	回	2	2	2 (2)	(2)
	気候講演会の開催		活動実績 (当初見込)	回	15	11	11 (11)	(11)
単位当たりコスト	187 (千円/回)		算出根拠	H22執行額/H22異常天候早期警戒情報の発表回数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	1	・異常天候情報作成装置の更新8百万円				
	職員旅費	21	3	・インターネット気象情報提供システム(クラウド)整備に伴う異常気象解析装置の維持費の減 11百万円				
	委員等旅費	2	2	・全球異常気象監視システム整備に係る調達方法の改善による借料の減 2百万円				
	観測予報庁費	75	68	・異常気象解析装置の借料の減 2百万円 ・外国旅費の集約化に伴う減 18百万円				
	計	99	74					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・H22.9 平成22年夏の記録的な猛暑に関する異常気象分析検討会を開催(9月3日)し、分析結果について報道発表を行った。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該事業は、気候変動枠組条約及び地球温暖化対策推進大綱に基づき、地球温暖化の緩和策、適応策の検討の推進に必要となる情報を提供するものであることから、継続して実施する必要がある。</p> <p>・平成22年度は、「全球異常気象監視システム」の調達にあたり一般競争入札とし、国庫債務負担行為による複数年契約を行い、調達方法の改善を図った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		競争入札の拡大、ライフサイクルコストを考慮した複数年契約等調達方法の改善が図られた。引き続き、適切に業務を遂行するとともに、調達方法の最適化を図りコスト縮減に努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
異常気象解析装置(情報提供機能分)のインターネット気象情報提供システムへの統合による効率化、全球異常気象監視システムにあたりライフサイクルコストを考慮した複数年契約の実施によりコスト縮減を図った。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



少額のため千円単位

諸謝金
2百万円

旅費
20百万円

A.キヤノンマーケティングジャパン(株)			E.稚内市会計管理者		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	全球異常気象監視システムの取付調整	4	借料	防災気象講演会会場借用	0.012
計		4	計		0.012
B.NTTファイナンス(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	気候情報処理装置の借用及び保守等	35			
計		35	計		0
C.福岡管区気象台			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷	平成22年度気候講演会用パンフレットの印刷他 等	0.31			
借料	イベントホール施設及び付帯設備使用料	0.029			
計		0.339	計		0
D.(有)宮崎新生社印刷			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷	平成22年度気候講演会用パンフレットの印刷他 等	0.31			
計		0.31	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	キヤノンマーケティングジャパン(株)	全球異常気象監視システムの取付調整	3.7	1	非公表
2	NTTファイナンス(株)	全球異常気象監視システムの借用及び保守	3.6	1	非公表
3	(株)かんでんCSフォーラム	気候情報の応用技術に関する調査	2.8	3	非公表
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTファイナンス(株)	気候情報処理装置の借用及び保守 等	35	随意契約	
2	一般財団法人 日本気象協会	気象庁データ提供システム運用管理	13	随意契約	
3	キヤノンマーケティングジャパン(株)	異常気象解析装置の保守	12	随意契約	
4	(株)中原電気商会	OA用品の購入 等	3	随意契約	
5	(株)マルミヤ	アデス端末搭載ソフトウェア(Microsoft Office)の購入 等	3	随意契約	
6	(株)日本フォートサービス社	ハードディスクほかの購入 等	2	随意契約	
7	(株)タカシマ	マウスパッド(コクヨ EAM - PD40NTB)他購入 等	2	随意契約	
8	(株)ヤマダ電機	カラーレーザープリンタほかの購入 等	2	随意契約	
9	(有)アイワ	サーバ用NVRAMの購入 等	2	随意契約	
10	(株)ソフィス	外部記憶装置他の購入 等	2	随意契約	

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡管区气象台	平成22年度気候講演会用パンフレットの印刷他 等	0.339		
2	大阪管区气象台	地球温暖化対策に関するフォーラムの開催に要する経費 等	0.227		
3	札幌管区气象台	地球環境シンポジウム看板制作 等	0.206		
4	東京管区气象台	会議室使用料及び付属設備使用料	0.03		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)宮崎新生社印刷	平成22年度気候講演会用パンフレットの印刷他 等	0.31	随意契約	
2	(財)大阪国際交流センター	地球温暖化対策に関するフォーラムの開催に要する経費	0.153	随意契約	
3	(有)北都工芸社	地球環境シンポジウム看板制作	0.113	随意契約	
4	(株)マース	平成22年度 気候講演会に係るポスター印刷及び看板類制作等	0.074	随意契約	
5	(株)エフエムわっかない	防災気象講演会司会料	0.05	随意契約	
6	(株)カメラセンター	プロジェクター借用	0.032	随意契約	
7	(財)名古屋市文化振興事業団	会議室使用料及び付属設備使用料	0.03	随意契約	
8	財団法人 宮崎県立芸術劇場	イベントホール施設及び付帯設備使用料	0.029	随意契約	
9					
10					

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	稚内市会計管理者	防災気象講演会会場借用	0.012	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					